

Action #6:

実は、久米島は
エビやカニの
宝島なのです。

久米島はエビ、ヤドカリ、カニなどの分類学から見て、とても興味深い島です。海にも陸にも「クメジマ」の名前を持つ甲殻類がたくさんいます。研究者はすでに20年ほど前から、久米島の生物多様性の高さに注目しています。そこで、本講演では、甲殻類の分類という視点から久米島の自然を考察し、さらに「博物館」の役割の重要性について語ります。島の生物を調べ、博物館を充実させることは、学校教育、環境教育、エコツアーなどの観光で役に立ちます。みなさん、ふるってご参加ください。

久米島応援プロジェクト 第6回連続講座

「エビ・カニから見た久米島」

開催日 2011年8月31日(水) 20～21時半

場 所 久米島博物館

参加費 無料

主 催 久米島応援プロジェクト

共 催 久米島博物館 「久米島の川と海の生き物展」関連企画

講師：奥野淳兒（おくのじゅんじ）千葉県立中央博物館分館海の博物館 上席研究員

プロフィール：1969年(昭和44年)東京生まれ。浅い海に暮らすエビ類を中心に甲殻類の分類を研究している。1999年から千葉県勝浦市にある自然史博物館で研究、教育活動に従事する傍ら、2003年に「エビ・カニガイドブック2-沖縄・久米島の海から」を出版、久米島をはじめとする沖縄のエビ・カニ相の厚さにどっぷりハマる。

■久米島応援プロジェクトとは

WWFジャパンが編成したプロジェクトチーム。海洋生物学の専門家、赤土流出調査の専門家、地域協議会運営の専門家、広報宣伝活動の専門家が、久米島の自然環境調査と地域を活性化する環境保全施策を実施します。三井物産環境基金による助成を受けています。

■問合せ先：

WWFジャパン 自然保護室 権田 masayuki@wwf.or.jp Tel: 0980-84-4135 (WWFサンゴ礁保護研究センター)